

来春開校の「武生商工高」

25年度に校舎集約

県教委は27日、丹南地区の県立高再編で武生商と武生工を統合し総合産業高として来春開校する武生商工(仮称)について、2025年度から校舎を1カ所に集約する方針を明らかにした。20と24年度は現在の武生商、武生工の校舎を活用し2キャンパス制とする。集約後の設置場所は明らかになっていないが、商業系と工業系の統合の場合、実習用機器の移設費縮減などから工業系の校舎を使用するケースがほとんどという。

る規模になる。24年度までは商業系学科は武生商、工業系学科は武生工の校舎で主に学び、生徒が随時行き来しながら互いの専門教科の授業も受けられるようにする。6月補正予算案に、新たな校名板や校旗、校章の作成費など394万円を盛った。

また、丹南を統合し来春開校する新たな鯖江高で、丹南に二つある体育館のうち一つを体操用に改修し、普通科に新設するスポーツ・福祉コース(仮称)で主に使用する。6月補正予算案に跳馬1台と助走路の整備費2535万円を計上した。21年度末までに鉄棒やつり輪、平均台などをそろえる。(栗原愛)